



みえスタディチェックの結果からみる本校(1・2年生)の傾向

前回お伝えした全国学力・学習状況調査の結果に続き、今回はみえスタディチェックの結果からみた1, 2年生の傾向をお伝えします。みえスタディチェックは三重県教育委員会が行っている調査で、毎年、県内希望する中学校の1, 2年生を対象に実施されます。

(四日市市はすべての中学校で実施しています)今年度は4月に国語と数学、理科の学力調査が行われました。また、同時に「生徒意識調査」による生活や学習状況の調査も行われました。その結果をもとに、本校の傾向を説明します。

1 各教科の傾向と四日市市平均との比較について

【国語2年生】

本校の平均正答数は四日市市の平均を1.6問上回っています。学習指導要領の領域別では、「知識および技能」「話すこと聞くこと」「書くこと」「読むこと」のすべての領域で市の平均を上回っています。



【国語1年生】

本校の平均正答数は四日市市平均を0.7問上回っています。学習指導要領の領域別では、2年生と同様にすべての領域で市の平均を上回っています。

【数学2年生】

本校の平均正答数は四日市市の平均を1.7問上回っています。学習指導要領の領域別では、「数と計算」「図形」「測定/変化と関係」の領域で市の平均を上回っており、「データの活用」ではほぼ同じとなっています。

【数学1年生】

本校の平均正答数は四日市市の平均を1.0問上回っています。学習指導要領の領域別では、「数と計算」「図形」「測定/変化と関係」「データの活用」のすべての領域で市の平均を上回っています。

【理科2年生】

本校の平均正答数は四日市市の平均を0.9問上回っています。「エネルギー」「粒子」「生命」の領域で市の平均を上回っており、「地球」ではほぼ同じとなっています。

【理科1年生】

本校の平均正答数は四日市市の平均を1.4問上回っています。「エネルギー」「粒子」「生命」「地球」のすべての領域で市の平均を上回っています。

2 生活意識調査からみる本校生徒(1・2年生)の傾向

生徒意識調査より(一部抜粋)

肯定的回答の割合(%)

質問事項	本校	四日市市
毎日、同じくらいの時刻に寝ている	88.6	81.3
毎日、同じくらいの時刻に起きている	92.1	79.6
自分には、よいところがあると思う	80.7	80.7
将来の夢や目標を持っている	82.4	76.0
いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う	94.8	96.6
人の役に立つ人間になりたいと思う	95.6	96.0
自分と違う意見について考えるのは楽しい	86.8	82.6
何かを考えるとき、一つの視点だけではなく、別の視点からも考えようとしている	84.2	82.7
学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができている	78.1	81.3
各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめたり、思いや考えをもとに新しいものを作り出したりすることができる	78.9	78.8
学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができる	85.9	87.3



生徒意識調査の結果から、四日市市の回答平均と比べて本校の1、2年生は、「毎日、同じくらいの時刻に寝起きている」生徒や「将来の夢や目標を持っている」生徒が多いことが分かりました。また、「自分と違う意見について考えるのは楽しい」と思う生徒や「何かを考えるとき、一つの視点だけではなく、別の視点からも考えようとしている」生徒も市の平均より多くなっています。

「全国学力・学習状況調査」(前号参照)と「みえスタディチェック」の結果から

2つの調査から、学習面や生活面における本校生徒の傾向が明らかになりました。今後、学習面においては、「弱み」である「読むこと」の領域および「選択式」の問題形式への力をつけていくために、毎日の「港タイム」等の時間を活用し、読解力を高めるための「リテラス」や「コグトレ」「シート学習」等の取り組みを更に進めていきます。また、家庭学習においても、課題の目的をはっきり示すことで、学ぶ意欲を高め、授業の学習内容を確実に定着できるよう、計画的に取り組んでいきます。

一方、「学級活動における学級での話し合いを生かして、今、自分が努力すべきことを決めて取り組んでいる(前号)」生徒や「自分と違う意見について考えるのは楽しい」と思う生徒が多く、今後も、話し合いや議論を大切にした教科学習、学級活動を進めていきたいと考えています。